

(1) 調査結果の総括

I 災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまちづくり

- 近い将来発生するといわれる巨大地震への備えが必要となっているが、災害時における避難施設として、災害時避難場所と津波避難場所の違いを理解できている区民の割合、自宅での災害時の備えをしている区民の割合がともに 5 割程度となっている。年代別には、年代が上がるにつれて意識が高くなる傾向がある。【質問 1～3 関係】
- 子どもが残虐な事件に巻き込まれる事例が発生する中、地域防犯職員や青色防犯パトロールによる巡回、あるいは「二重ロックの日」など区役所による防犯の取組が、街頭犯罪や子どもの声かけ事案の抑止に役立っていると思う区民の割合が 6 割強となっている。また、自転車ルールやマナーを守っていないと認識している区民が 1 割強となっており、交通安全上は看過できない状況と言える。【質問 4・5 関係】

II 生き抜く社会力を身につける教育と子育てしやすい環境づくり

- 区役所と学校との連携を強化し、子どもに社会力を身につけさせる取組を進めているところであるが、地域・学校・家庭が一体となって教育コミュニティづくりができていると感じている区民の割合は 4 割程度となっている。
【質問 6～9 関係】
- 核家族が進む中、地域ぐるみで子育てを行えるよう環境づくりを進める中、子育て中の区民のうち、子育て支援・相談等区役所が実施するサービスを利用、又は利用する予定のある割合、行政や地域が実施する子育てイベント等に参加したことがある割合がともに 6 割強となっている一方、子育て世代の交流の場を利用しているとする割合が 5 割弱となっている。一方、子育てに関する情報を区広報媒体から得ている子育て中の区民の割合は 6 割程度であるものの、「子育て情報が適切に取得でき、安心して子育てできる」と感じる区民の割合が 4 割程度となっている。【質問 10～16 関係】

III 誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実

- 高齢者や障がい者等の見守り等を通じた福祉のネットワークづくりに取り組む中、地域での福祉課題に関する話し合いや取組が行われていると感じる区民は 3 割弱となっている。【質問 17～19 関係】
- 区民の健康寿命が大阪市平均を下回っているという現状のもと、区民の 9 割弱が自己の健康管理に気をつけているものの、継続して運動を実践している区民は 5 割弱、1 年以内にがん検診を受けた区民は 4 割程度となっている。【質問 20～28 関係】

IV このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出

- 人を育てる視点で「このはな」の魅力発信に取り組んでいる中、此花区の魅力の有無について、肯定的意見が 4 割強、否定的意見が 6 割弱となっている。また、此花区の魅力が高まりについて、以前よりも高まっているとする肯定的意見が 4 割弱、逆に否定的意見が 6 割強となっている。また、舞洲の地域活力への寄与度については、肯定的意見が否定的意見を下回っている。【質問 29～31 関係】
- 区役所において、環境創造のモデル的な取組を進める中、まちの美化や環境問題に関心のある区民は 9 割弱、花と緑のまちづくりの取組がまちを美しくすることにつながっていると感じている区民は 7 割弱となっている。また、子ども向けリサイクルの取組が環境の関心を高めることにつながっていると肯定的意見が 7 割弱、アートの取組が環境の関心を高めることにつながっていると肯定的意見が 5 割強となっている。【質問 32～37 関係】

V 活力ある地域社会づくり

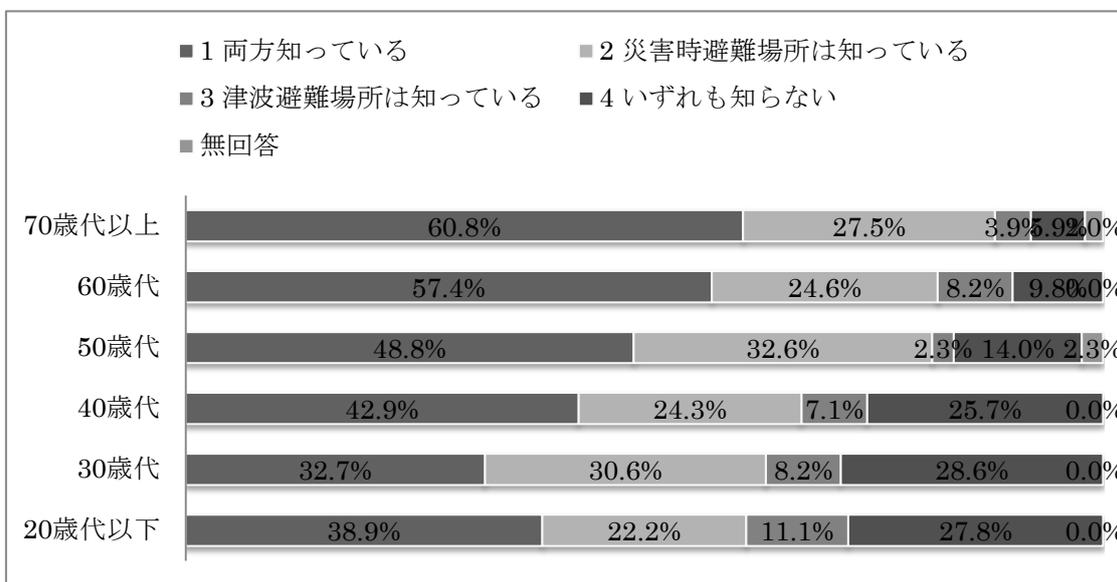
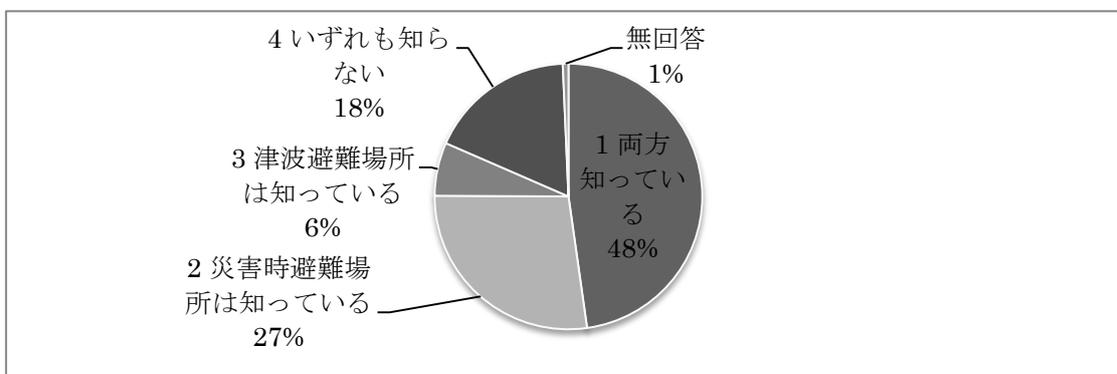
- 地域活動協議会をはじめとする市民活動団体の取組を支援しているところであるが、住んでいる地域での活動内容等を知る機会が増えたと感じる区民は 2 割弱、活動がさまざまな活動主体の連携により進められていると感じる区民は 3 割程度、地域公共人材やコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの認知度も 2 割程度となっている。【質問 38～45 関係】

(2) データ編

I 災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまちづくり

質問1 あなたは、災害時における避難施設（災害時避難場所・津波避難場所）を知っていますか。（1つ選んでください） n=293

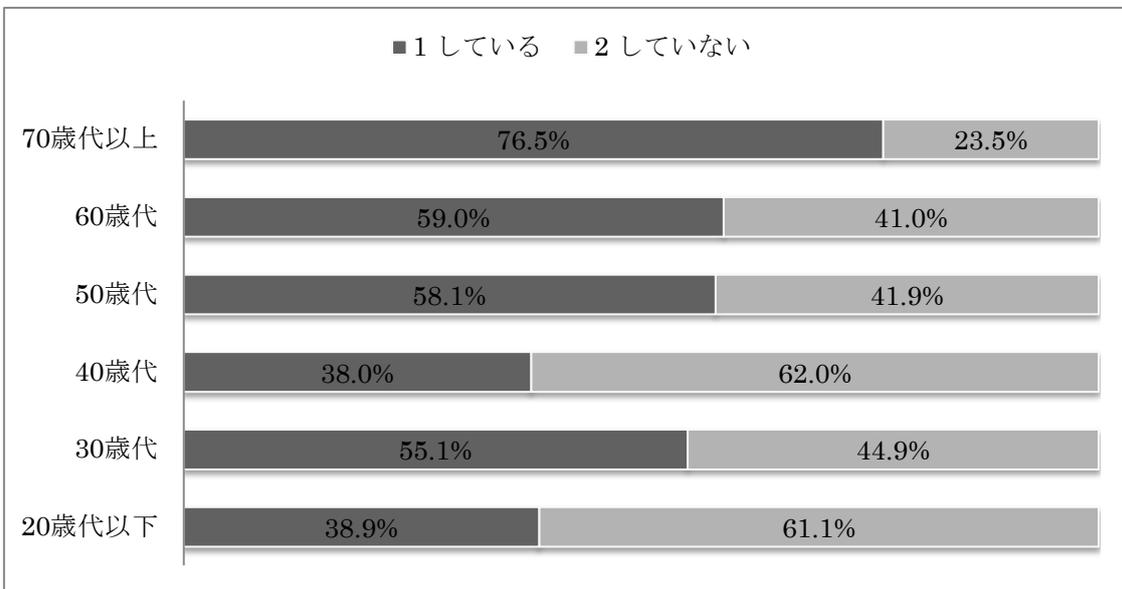
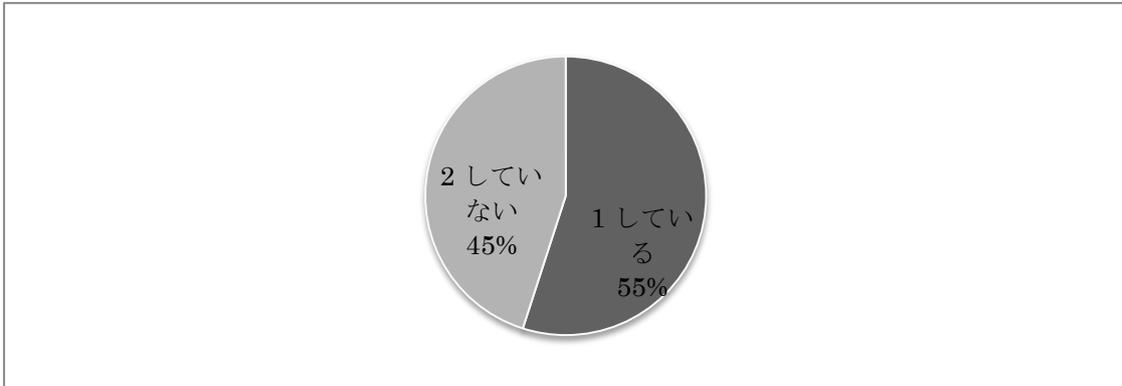
1 両方知っている	140	(47.8%)
2 災害時避難場所は知っている	80	(27.3%)
3 津波避難場所は知っている	19	(6.5%)
4 いずれも知らない	52	(17.7%)
無回答	2	(0.7%)



- ・ 「両方知っている」割合は48%、「災害時避難場所は知っている」「津波避難場所は知っている」の割合をあわせて33%となっている。
- ・ 年代が上がるにつれて「両方知っている」割合が高くなる傾向がある。

質問2 あなたは、大地震等災害に対して自宅で何か備えをしていますか（例：
 備蓄品、持出品、家族での会議、家具の固定等）（1つ選んでください） n=293

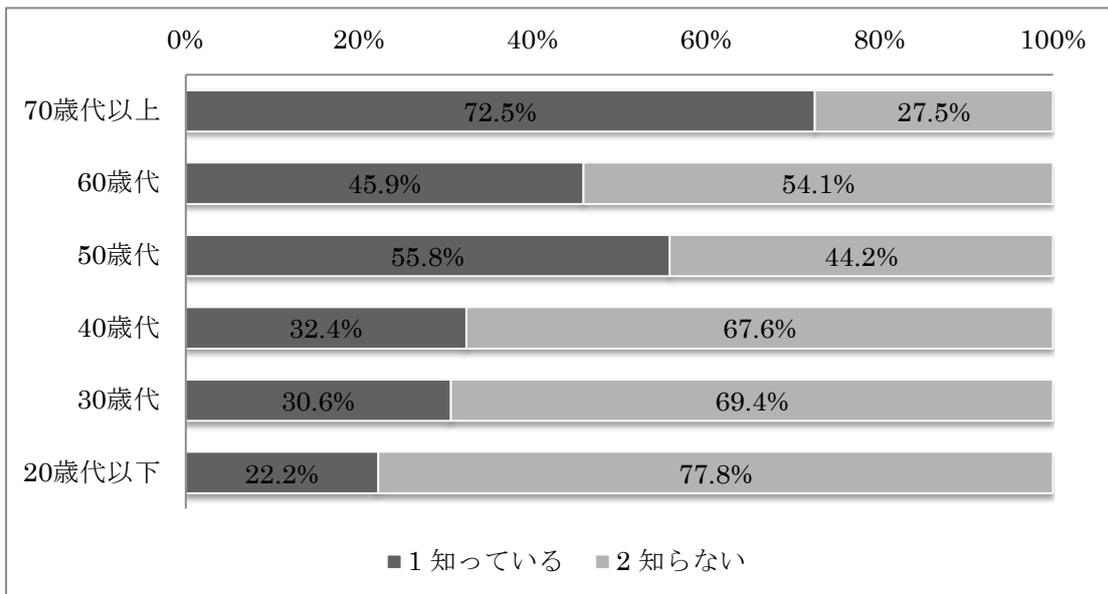
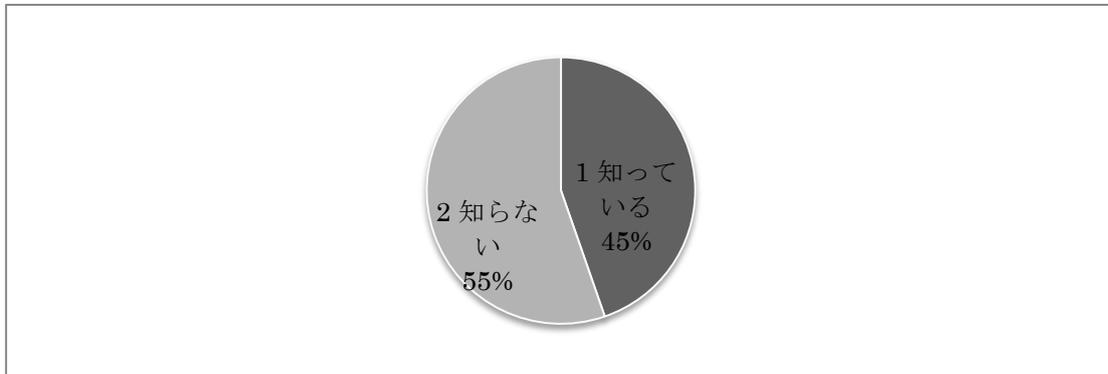
- 1 している 161 (54.9%)
- 2 していない 132 (45.1%)



- ・ 災害に対する備えを「している」の割合は55%と、「していない」の割合45%を上回っている。
- ・ 年代が上がるにつれて、備えを「している」割合が高くなる傾向がある。

質問3 区役所で防災に関する計画やマニュアルが作成されていることを知っていますか。(1つ選んでください) n=293

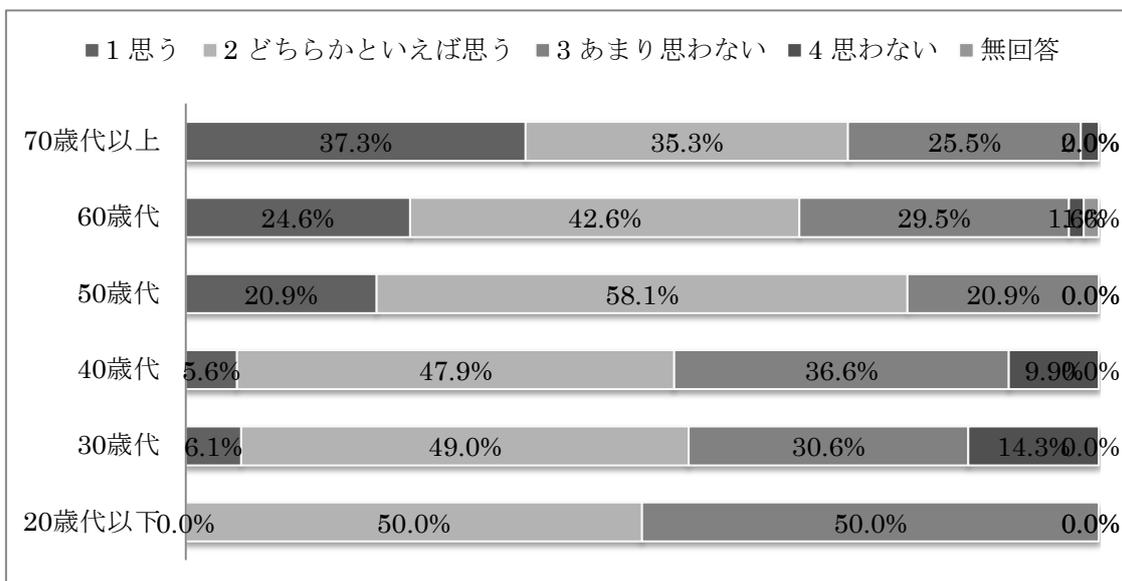
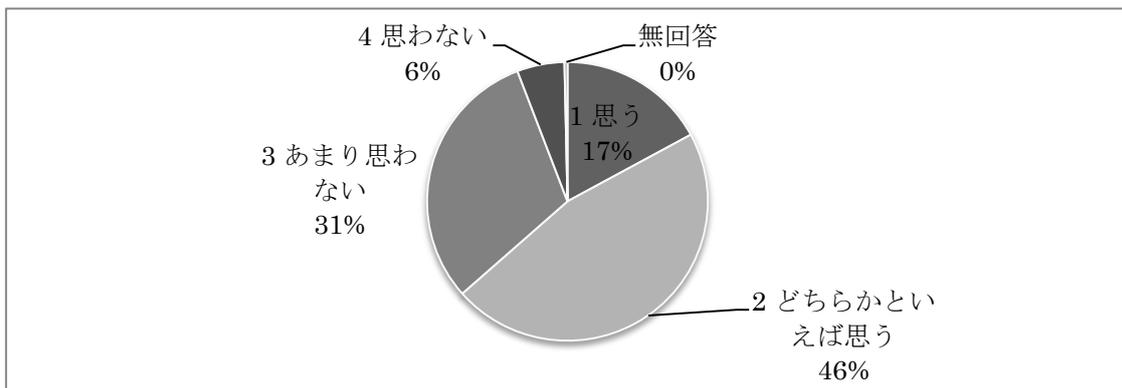
- 1 知っている 131 (44.7%)
- 2 知らない 162 (55.3%)



- ・ 区の防災計画やマニュアルの存在を「知っている」の割合は45%と、「知らない」の割合55%を下回っている。
- ・ 年代が上がるにつれて、「知っている」割合が高くなる傾向がある。

質問 4 あなたは、此花区役所で行っている防犯の取組が犯罪発生件数の減少に役立っていると思いますか。（1つ選んでください） n=293

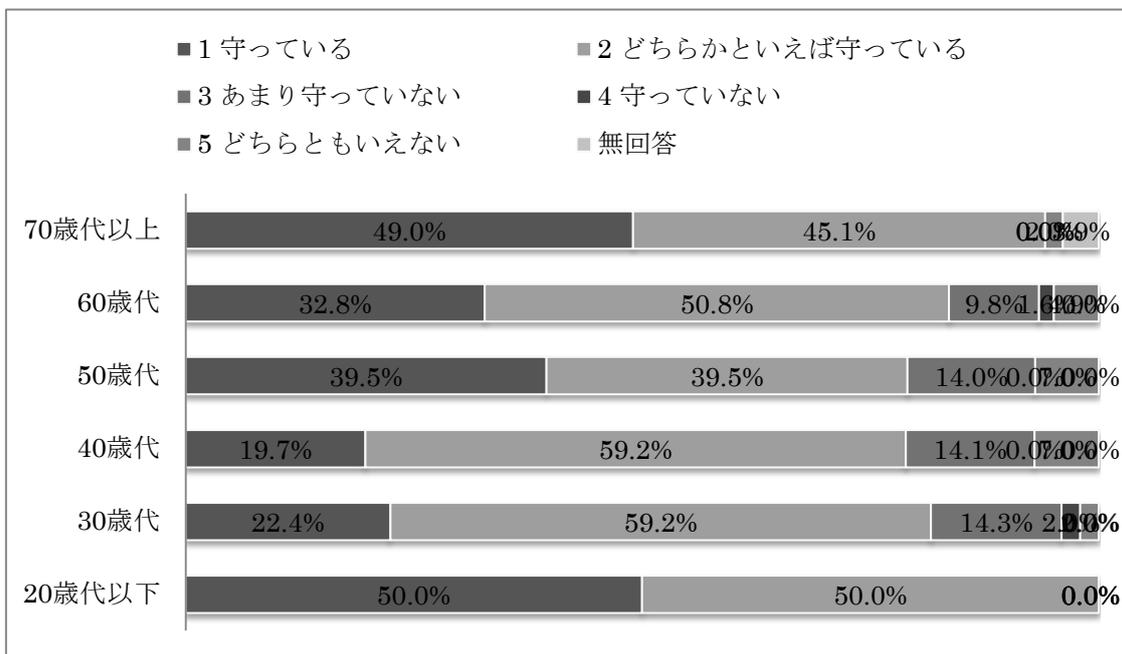
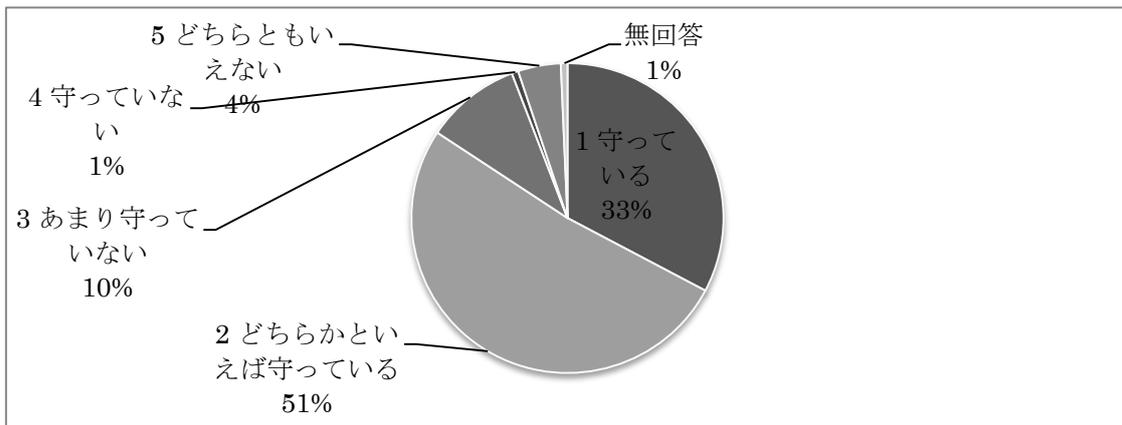
1 思う	50	(17.1%)
2 どちらかといえば思う	136	(46.4%)
3 あまり思わない	90	(30.7%)
4 思わない	16	(5.5%)
無回答	1	(0.3%)



- ・ 防犯の取組みについて、肯定的意見（「思う」「どちらかといえば思う」）の割合（64%）が、否定的意見（「あまり思わない」「思わない」）の割合（36%）を大きく上回っている。
- ・ 年代が上がるにつれて、肯定的意見の割合が高くなる傾向がある。

質問5 あなたは、自転車のルール、マナーを守っていますか。(1つ選んでください) n=293

1 守っている	96	(32.8%)
2 どちらかといえば守っている	151	(51.5%)
3 あまり守っていない	29	(9.9%)
4 守っていない	2	(0.7%)
5 どちらともいえない	13	(4.4%)
無回答	2	(0.7%)



- ・ 自転車のルールやマナーの順守について、肯定的意見（「守っている」「どちらかといえば守っている」）の割合（84%）が、否定的意見（「あまり守っていない」「守っていない」）の割合（12%）を大きく上回っている。
- ・ 肯定的意見は20歳代以下で100%にのぼり、40～50歳代が比較的低くなっている。